业海道議會時報

第 16 卷 第 9 号

昭和 39年 9月



北海道議会事務局

北海道議会時報第16巻第9号(昭和39年)

第 9 号 目 次 -----

議	会	の	動	き																			
		常	任	委	員	会			••••		••••					••••	••••	· · · ·	····		 .	•••	1
		特	别	委	員	会			••••				· • · ·	••••						••••			6
			糸	合紹	昇発	調査特	別委員	1															
			7.	炭ź	寸策:	特別委	員会																
			ij	扩名	全	設調査	特別	委員会	Ì														
会				合																			
_																							
		全[国都	道A		議会記	義長:	슺		• • • •	••••	••••	• • • •	••••				• • • •	••••				7
		10	都道	府県	1議	会議	長会・	•••••	- 			••••		···•	•• •••		· · · ·					• • • •	7
		10	邹道	府归	1.議	会事	悠協 :	義会·					• •		•••••					••••		•••	7
		全[国酪	農網	圣営	安定	対策に	車絡	協註	養会	• • • • •								····		••••	•••	8
資				料	+																		
		第	2 🗖	定值	列道	議会の	の議	夬を	経た	:条	例の	の公	'n	調・					••••		· • • • •	•••	8
		大	 -	次官	言一	覧				• • • •	••••	••••	. .	••••				• • • •	••••		. 	•••	9
		中,	央政	党征	0.00	一覧	· • • • • •		••••		••••	••••	• • • •	••••	•••••			• • • •				••••	10
		道	内主	要叫		および	び道語	議会	内名	子派	役員	員一	-覧	• • • •		••••	••••						12

8月のメモ

表紙写真

さけ定置の網起し風景(石狩川)

北海道議会事務局撮影

北海道議会時報第16巻第9号(昭和39年)



常任委員会

総務委員会

○8月7日 午後1時45分、第5委員会室において開議、 午後1時57分散会、委員長 深山和圀(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第 67 号 空知支庁庁舎新築の件 (採択) 陳 情

第 38 号 北海道学芸大学旭川分校の昇格拡充に伴 う地元負担事業に助成の件 (保留)

○8月18日 午後1時20分、第1委員会室において開議、 午後2時12分散会、委員長 深山和圀(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第 38 号 北海道学芸大学旭川分校の昇格拡充に伴 う地元負担事業に助成の件(取り下げ)

一般議事

- ① 河野委員(社)から、旭川市、北見市および網走、釧路、根室支庁管内の公害およびへん地対策事業調査経過、谷口委員(自民)から、愛知、三重および新潟各県の公害ならびに災害対策状況調査経過についてそれぞれ報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 堀委員(社)から、第3回定例道議会の招集時期 について質疑、総務部長から答弁。
- ③ 総務部長から、8月15、16日の大雨災害状況について説明を聴取の後、

改発委員(社)から、降雨量 100 ミリ程度で災害が起きることの根本的原因

について質疑および要望があり、総務部長から答弁。

④ 武藤委員(社)から、8月16日札幌において開催の北 方領土に関する道民大会が低調に終わつたことに対す る部長の見解および領土復帰運動に対する基本的見解 について質疑、総務部長から答弁。

厚生委員会

○8月5日 午前11時5分、第5委員会室において開議、

午後零時48分散会、委員長 神部俊郎(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第123号 精神燕弱者収容援護施設設置の件

(採択)

陳情

第309号 精神薄弱者施設増設の件

(採択)

一般議事

- ① 青木委員(社)から、十勝、日高および胆振各支庁管 内の厚生事情視察の経過について報告があり、異議な くこれを了承。
- ② 委員長から、昭和40年度厚生省関係予算折衝を8月 9日から14日まで実施することについてはかり、異議 なくそのことに決定、派遣委員については、委員長一 任とすることとした。ついで、道東方面の厚生事情視 察および他府県の社会福祉施設視察の日程等について はかり、異議なく委員長一任とすることに決定。
- ③ 青木委員(社)から、道立旭川療養所専任所長の補充 問題に関し、これが発令の時期、婦長の欠勤している 経過および具体的な充足対策の明示方、道立白雲荘の 医師補充に対する見解、

山下委員(社)から、まず道から医師を派遣した上で 自後の処置を考えられたい

等について質疑および意見があり、衛生部 長から 答 弁。

商工労働委員会

○8月11日 午前11時20分、第1委員会室において開議、 午後零時46分散会、委員長 橋本清次郎(社)

一般議事

① 西鳥羽委員(社)から、後志、渡島、檜山、胆振各支 庁管内の商工労働事情調査の経過について報告の後、 委員長から、松前、知内、福島地区の道立自然公園 指定方に対する見解、林務部との連けい、

山元委員(自民)から、自然公園審議会との連けいと 観光課の意見具申、

新川委員(社)から、観光行政の一元化、

本間委員(社)から、自然公園審議会に商工労働委員 も入るべきでないか

等について質疑、意見および要望があり、観光課長から答弁。

- ② 商工部長および観光課長から、国際観光ルート指定問題のその後の経過について説明を聴取。
- ③ 商工部長から、北海道貿易館の移転問題について説明を聴取の後、

本間委員(社)から、貿易館の事業費内容、新年度予

算における増霜要求方

について質疑および意見があり、商工部長から答弁。

④ 労働部長から、労働力需給対策について説明を聴取 の後、

新川(社)、西鳥羽(社)の両委員から、抜本的対策の 提示方

について要望があり、労働部長から答弁。

⑤ 西鳥羽委員(社)から、苫小牧市における企業誘致、 基盤整備に対する指導

について質疑および意見があり、商工部長から答弁。

建設委員会

○8月5日 午前11時53分、第1委員会室において開議、 午後2時45分散会、委員長 桶谷利男(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第 6 号 小平村地内住吉停車場線を道道に認定の 件 (保留)

第7号 小平村地内村道鬼鹿停車場線を道道に認 定の件 (不採択)

第 23 号 石狩町町道生振 3 線、生振北 1 号線 /生 振 8 線、幕別線を道道認定の件(保留)

第 24 号 砂原村地内掛澗、紋兵衛砂原地区のがけ 地崩壊に対する防災工事施行の件

(採択)

第 43 号 新冠町町道第 3 号道路を道道認定の件 (保留)

第 48 号 上富良野町地内十勝岳産業開発道路新設 工事施行に対する助成等の件 (採択)

第 59 号 新得町道岩松、新屈足間及び鹿追町道瓜 幕、西上幌内間道路を道道認定の件 (採択)

第 69 号 乙部村地内道立自然公園「しびの岬」観 光道路存置の件 (保留)

第72号 福島町町道福島停車場線及び町道美山線 (吉岡停車場道路)を道道に認定の件 (採択)

第 84 号 奥尻村村道稲穂線、滝の澗海岸線、滝の 澗 2 号線、宮津開拓 2 号線の一部宮津開 拓 3 号線を道道認定の件 (保留)

第 88 号 村道鹿部駅線を道道に認定の件(保留)

第 98 号 茅室町地内普通河川渋山川、シブサラビ バウシ川、東久山川、パンケホロナイ川 の4河川を準用河川に認定の件(採択)

第103号 知内村地内の海岸に対し防災工事実施の 件 (保留) 第107号 富良野町山部村間町村道5区本通線を道 道に認定の件 (保留)

第114号 南富良野村村道落合線、落合トマム線及 び占冠村村道占冠トマム線を道道に認定 の件 (採択)

陳情

第208号 建築行政に関する要望の件 (採択)

一般議事

島田委員(自民)から、新河川法に関する中央折衝、 ついで、竹内委員(社)から、胆振、渡島、檜山、後志 各支庁管内の建設事情調査の経過についてそれぞれ報 告があり、異議なくこれを了承。

本日聴取した陳情

札幌士別間道路の国道昇格について 札幌士別間道路国道昇格促進期成会

○8月20日 午前^{11時14}分、第¹委員会室において開議、 午後¹時30分散会、委員長 桶谷利男(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第 5 号 小平村道川南本郷線、留萠市道中幌線区 間を道道に認定の件 (採択)

陳 情

第 24 号 普通河川ペンケ 知川、長流枝川、鎮錬

川を道費河川に認定の件 (採択) 第 39 号 道道尾幌、昆布森釧路線中釧路市桜ケ丘

より昆布森区間の道路変更の件(採択) 第 43 号 本別町地内町道押帯川沿道路に架設の長

第 43 年 本別可BIPI可超打電が同盟動に深設の大 命橋を永久橋架換の件 (採択)

第 47 号 池田町地内町道ケナシハ原野道路並びに 本別町町道本別押帯間道路の道道昇格に ついて早期認定の件 (採択)

第 52 号 俱知安町道赤井川村道を道道に認定の件 (採択)

第 65 号 恵庭町地内普通河川柏木川及びルルマツ プ川を準用河川に認定の件 (採択)

第 89 号 弟子屈町道(町道弟子屈停車場線、町道 栄橋線、町道北2条西2丁目線、町道高 台線)を道道に認定の件 (不採択)

一般議事

- ① 土木部長から、8月15、16日の上川、空知、留萠各 支庁管内における降雨被害状況について説明を聴取。
- ② 山田委員(社)から、石狩、空知、留萠各支庁管内、 奥野委員(自民)から、十勝、網走、根室、釧路各支庁 管内の建設事情調査の経過についてそれぞれ報告があ り、異議なくこれを了承。
- ③ 湯田委員(社)から、工事請負契約について契約業者 が全工事を下請させ、ピンハネをしている実態に対す

る指導、対策、札幌市における3階建家屋の建築違反 に対する取り締り、

村本委員(社)から、全面下請ができる場合の基準 等について質疑および意見があり、土木部長、建築部 長から答弁。午後零時46分休憩、午後1時5分再開。

④ 竹内委員(社)から、釧路市桜ケ丘における業者の宅 地造成に対する規制措置、

村本委員(社)から、土木部、建築部所管の開発予算 要求の内容、道路事業費の39年度枠

等について質疑、意見および要望があり、建築部長、 土木部次長から答弁。

⑤ 委員長から、宗谷、上川支庁管内の建設事情調査を 行なうことについてはかり、異議なくそのことに決 定、日程等については委員長一任とすることとした。

農務委員会

○8月7日 午後2時20分、第1委員会室において開議、 午後5時38分散会、委員長 池田信孝(自民)

一般議事

① 農業改良課長から、8月1日現在の農作物の作況について説明を聴取の後、

美濃委員(社)から、現在の作況からして、早期に冷 害対策を立てる必要があると考えるが、これが調査の 実施および今後の予定

について質疑および要望があり、農務部長から答弁。

- ② 美濃委員(社)から、十勝地方におけるダム放流による災害対策に関し、ダムの放流による被害かどうかの 調査実施結果および結論のでる時期、見通し 等について質疑、河川課長から答弁。
- ③ 農務部長から、甘味資源審議会の審議状況および最近における糖価暴落に伴うビート対策について説明を 聴取の後、

西島委員(自民)から、今後の糖価変動に対する見解、明年のてん菜価格への影響およびこれに対処する委員長のかまえ、明年の価格決定にあたつての道の考え方、

糸川委員(社)から、てん菜糖業を安全路線にのせる ための道のかまえ、てん菜生産振興対策の基本的問題 点等の提出方、

美濃委員(社)から、ビートの政府買入れが目的どおり行なわれない場合の措置、政府の介入以外に救済する方法の有無、審議会を開いて生産対策、操業度等の問題の検討方および今後の積極的な施策の推進方策、

渡部副委員長(社)から、政府の全量買上げについて 心配はないか、政府の買上げに当つて、取引価格7,200 円を折り込んで買上げてほしい旨要請しているが、知 事が先頭に立つて折衝することに対する見解、甘味養源法第23条(政府買入れ価格)該当の有無、取引価格が決定したあとで指示価格を出すことの可否、原料価格については、道の責任において行なわれたい、原料価格により標準糖価が変ると考えるが、農林省は作業をやつているか、甘味養源法附則第2条と新設会社との関係、年次別計画策定の有無

等について質疑、意見および要望があり、委員長から 応答、農務部長から答弁。

④ 農務部長から、昭和40年度農業予算編成に関する意 見について説明を聴取の後、

糸川委員(社)から、昭和40年度予算要求について道 は前年の50%増以内で作業をしたと思うが、その後30 %以内という指示があるが、この要求を確保する基本 的態度、草地開発事業予算要求に対する現況、

美濃委員(社)から、農業施設、農地取得資金の要求 方および共同畜舎、個人の農業施設、家畜導入等の据 置期間、償還期限の延長の要請

等について質疑および意見があり、農務部長、農業経済課長から答弁。

- ⑤ 委員長から、道内作況調査およびてん菜振興対策等中央折衝を実施することについてはかり、異議なくそのことに決定、日程、派遣委員等については、委員長一任とすることとした。
- ⑥ 諏訪田委員(社)から、6月上旬の水害により、再植 した苗から黄化萎縮病が発生しているが、その後の経 過および技術対策、道のとつた指導態度、

千葉委員(自民)から、道内農業試験場の視察実施方 取り計らわれたい、

美濃委員(社)から、大豆、でん粉価格検討の経過、 今回の中央折衝事項に挿入方、

嶋田委員(社)から、玉ねぎの価格安定対策に対する 見解、ソ連、中国等に道があつせんして輸出する考え の有無

等について質疑、意見および要望があり、委員長から 応答、農務部長、農業改良課長、畑作園芸課長から答 弁。

本日聴取した陳情

道立農業試験場の設置について 江別市農政課長

農地開拓委員会

○8月5日 午後2時12分、第4委員会室において開議、 午後4時25分散会、委員長 遠藤英吉(社)

請願、陳情の審査

請 顧

第122号 準用河川ビリベッ川の氾濫に伴う農業被

害補償並びに防災対策実施の件 (保留)

-- 般議事

- ① 津川副委員長(公正ク)から、6月上旬低気圧による 農業被害状況および農地開拓事情調査(空知、十勝両 支庁管内)経過について報告があり、異議なくこれを 了承。
- ② 農地開拓部長から、開拓農家負債整理に関するその 後の経過および昭和40年度北海道開発予算要求の経過 等について説明を聴取の後、

林(利)委員(自民)から、負債整理問題を全国知事会 議に提案するこについて東北知事会議は承認している かどうか、

井野委員(社)から、東北知事会議に負債整理と離農 対策を提案するというが、知事はどの程度情熱をもつ て提案するか、

二瓶委員(自民)から、農林省の意向は、新振興計画 を実施するため、負債整理を待てというが、今後の中 央折衝の方法に対する部長の考え方、

中西委員(自民)から、各党で政治折衝をして、強力 に推進する必要があるので、中央折衝については、委 員長が適当な時期に取り計らわれたい

等について質疑および意見があり、農地開拓部長から 答弁、暫時休憩、午後4時15分再開。

- ③ 委員長から、中央折衝については、休憩中協議した とおり、自民党の窓口であつた松浦代議士の大臣就任 に伴う後任者を決めてもらう、今後の折値計画につい ては理事者側と協議の上決定することとなつた旨をの べ、この取り扱いを委員長一任とすることをはかり、 異議なくそのことに決定。
- ④ つぎに、道内調査(石狩、空知、後志北部、奥尻)を8月20日から27日まで実施することをはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑤ 清水委員(社)から、交換分合による耕地整理5カ年 計画が新聞報道されているが、委員会に報告してはど うか、具体的なものはいつ頃でるか

について質疑、農地開拓部長から答弁。

水産委員会

○8月11日 午後1時40分、第5委員会室において開議、 午後2時10分散会、委員長事故のため副委員 長 坂下 堯(社)

一般議事

① 副委員長から、さきに実施した渡島、檜山両支庁管内の水産事情視察の経過については、報告書の配付をもつて報告にかえる旨をのべ、異議なくこれを了承、ついで、道東地区の視察経過報告は、目下作成中のた

め、次回委員会に提出する旨をのべた。

- ② 副委員長から、日高管内の水産事情調査を実施する ことについてはかり、異議なく配付の日程案のとおり 決定、派遣委員等については、委員長一任とすること とした。
- ③ 水産部長から、本道水産加工業の振興について説明 を聴取。
- ④ 砂原委員(社)から、明年度水産関係国費予算および 道南、道東地区調査に関連して、試験調査船の配置お よび資源調査ならびに操業方法に対する見解、離島低 位経済町村振興資金貸付の継続実施に対する見解、水 産干場造成に関し、チリ地震津波でやられた部門がい まだに完成していないがどうか、特に、個人の改良干 場の融資はどうなつているか、ソ連との民間協定によ る貝殻島コンブ造成の継続実施に対する見解、根室は 石のないところであるが干場造成に対する対策はどう か

等について質疑、水産課長、振興計画課長から答弁。

- ⑤ 川村委員(社)から、委員会運営について発言があ り、副委員長から応答。
- ○8月20日 午前10時50分、第5委員会室において開議、 午後 1時 2分散会、委員長 高橋源次郎(自 民)

一般議事

- ① 委員長から、釧路、根室および網走各支庁管内の水 産事情視察経過について、報告書の配付をもつて報告 にかえる旨をのべ、異議なくこれを了承。
- ② 水産部長から、前回の委員会において 松平委員(自 民)から 質疑のあつた 底曳禁止区域拡大に関する答弁 の保留部分について答弁があつた後、

砂原委員(社)から、北部日本海禁止区域拡大改正案 (第3回定例会前に)の作成見通し、枝幸沖合の操業 協定が8月24日で期限が切れることに対する対策並び に見解、

坂下副委員長(社)から、底曳禁止区域拡大改正案は 利礼海域も含めて考えているか、

麻里委員(自民)から、北部日本海の底曳禁止区域拡大の道案ができ次第、他の地区に対する拡大措置をも早急に進められたい、また、北部日本海の改正案を明年早々水産庁に持ち込んでもらいたい、

川村委員(社)から、底曳禁止区域拡大措置について 全地区に対し作業を進めることの困難な理由、

沖野委員(自民)から、前回の議会で知事は必要地区から順次行なうと聞いているが、全道的に行なうか、 松平委員(自民)から、北部日本海の禁止区域拡大改

正案はいつ頃までかかるか、水産庁に持ち込む時期 等について質疑、意見および要望があり、水産部長か ら答弁、暫時休憩(休憩中、本問題について各委員と 理事者との間で意見の交換があつた。)、午前11時45分 再開、水産部長から、休憩前の各委員からの質疑に対 し補足答弁。

③ 水産部長から、39年ソ連ニシン輸入状況、漁業労働 近代化対策、沿岸漁業就業者の転業促進対策に関する 答申について説明を聴取の後、

砂原委員(社)から、水産加工業振興対策中、資金対策のない理由、

川村委員(社)から、沿岸漁業構造改善事業計画の策定と、第2期道総合開発計画における水産部門との関連性およびこれが資料の提出方、ソ連ニシン輸入問題に関し、明年度輸入の計画、輸入により道民生活にあたえた影響、限度量に対する考え方、

麻里委員(自民)から、漁連以外でソ連ニシンを輸入する話があるがその事実の有無、輸入差益金により輸送船を購入することになつているが、購入価格が当初より上回つているので1,000万円程度増額されたい、日本海北部地域の構造改善事業に対する経営近代化資金の見通し、ズワイガニ漁業に対する基本的な考え方、

川端委員(自民)から、ソ連ニシン輸入量 3,000 トン が限度であるなら、今から水産庁に対し要望しておく べきでないか

等について質疑、意見および要望等があり、水産部長、漁政課長、振興計画課長、漁業調整課長から答弁。

④ 委員長から、中央折衝および水質汚濁府県視察の日程等については委員長一任とすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

文教林務委員会

○8月10日 午後1時41分、第5委員会室において開議、 午後2時57分散会、委員長 道下美作(社)

請願、陳情の審査

請 願

第 21 号 釧路市に国立工専誘致の件 (採択) 陳 情

第114号 知床半島尖端地域を史跡名勝、天然記念 物に仮指定の件 (採択)

一般議事

① 林業および教育事情に関する現地調査の経過について、渡島、檜山支庁管内について、池田(金)委員(自民)から、上川、網走支庁管内について、亀井委員(社)から、それぞれ報告があり、異議なくこれを了承。

② 林(謙)委員(自民)から、上の国かんばい事業反対運動に一部教員の参加したことについて、地元住民の教員および教育局等に対する批判と不信の念が強いが、その後の経過はうなつているか、

水島委員(社)から、文化財に関し、教育委員会、林 務部等の関係機関の連絡が十分行なわれているか、

亀井委員(社)から、学校におけるテストの結果を廊下等にはり出すことおよび現職の校長等が奨励して、補修授業を公民館で実施していることに対する見解、学校の長期借入金が父兄負担となるようなことはないか、また道の私学に対する指導、かん督権等の及ぶ範囲、一部の父兄が授業料を供託している問題に関連して、この法的解釈の検討方、並びにこれ等未納生徒に対する学校側の諸証明、学割等の発行停止の措置に対する見解、関連して

佐野委員(社)から、授業料供託者のパーセンテージ、並びに第一高校のような問題を含め、この種の問題について高度の角度から検討すべきでないか 等について質疑および要望があり、教育長、学事課長から答弁。

本日聴取した陳情

北海道旭川養護学校校舎新築について北海道旭川養族愛児の会代表

- ○8月10日 午後3時20分、自民堂控室において**小委員会** を開議、午後4時46分散会、小委員長 林 謙二(自民)
 - ① 小委員長から、父兄負担に関する教職員旅費関係の 資料についての説明聴取、および学校費の父兄負担状 況についての学校視察等について先例により、休憩の 上、協議する旨を述べ、午後3時21分休憩。

(休憩中の協議事項等)

- 1 教育長等から、昭和38年度小・中学校教職員旅 費に関する調べ、および昭和38年度旅費の配分基 準について説明を聴取
- 2 教員の研修計画
- 3 研修基準計画の策定
- 4 父兄負担についての実態調査の実施
- ② 午後4時45分、再開後、直ちに散会。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- ○8月10日 午後1時25分、第1委員会室において開議、 午後3時15分散会、委員長 二新栄吾(自民)
 - ① 委員長から、昭和 39 年度開発予算要望に関する中央折衝についての経過報告があり、異議なくこれを了承して暫時休憩(休憩中、本予算要求について協議、21日の開発審議会における議長発言に、社会生活基盤の整備についてとくに配慮願う旨を折り込むことに決定。)、午後2時45分再開。
 - ② 調整課長から、昭和37年度~39年度開発事業技術職員数調について説明を聴取の後、

糸川委員(社)から、開発庁における技術者の人員要求数の把握、またこれに関連しての予算問題に対する 心構え

について質疑、企画部長から答弁。

③ 委員長から、21日の道開発審議会にオブザーバーとして出席すること、および同日青森県で行なわれる青函トンネル調査坑着工式に委員を派遣することについてはかり、異議なくそのことに決定、派遣委員等については、委員長一任とすることとした。

石炭対策特別委員会

○8月18日 午前11時33分、第5委員会室において開議、 午後1時10分散会、委員長 伊藤 弘(自民) 開議に先だち、商工部長から石炭調査団来道につい て説明があつた。

請願、陳情の審査

陳情

第 111 号 炭鉱離職者受入れ市町村に対する緊急措 置実施の件 (採択)

第112号 白糠叮産炭地振興緊急対策の件(採択)

第147号 苫小牧市を産炭地域に追加指定方要望の 件 (保留)

第150号 産炭地振興対策の件

(採択)

第156号 美唄市における産炭地振興対策の件

(採択)

武藤委員(社)から、厚岸炭鉱閉山問題、職業安定所 運営問題、道内離職者の分布状況、

西鳥羽委員(社)から、炭鉱における中小、大手の賃金状況と他の主要産業の賃金との比較

に関する資料の要求があった。

○8月19日 午後1時40分、第5委員会室において開議、 午後2時50分散会、委員長 伊藤 弘(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第198号 釧路市を産炭地域振興臨時措置法第6条 に基づく地域指定要望の件 (保留)

(採択)

第259号 産炭地域振興事業団の一環として美唄市 に設置されるセラミックプロック工場建 設計画中止の件 (保留)

第 265 号 産炭地振興対策の件

(保留) (採択)

第 326 号 茅沼炭鉱閉山に伴う泊村振興対策の件

(保留)

- ① 武藤委員(社)から、石炭調査団に対する要望書に保 安状況の挿入方、炭鉱糠職者の道外流出の原因 について質疑、商工部長から答弁。
- ② 湯田副委員長(社)、西島羽(社)、渡辺湾(社)の各委員から、石炭調査来道に対する態度、本委員会の意見 反映

等について意見があり、本問題の取り扱いについて、 小委員会で検討することについてはかり、異議なくそ のことに決定。

○8月22日 午前11時20分、第1委員会室において小委員 会を開議、午後2時40分散会、小委員長 神 部僚郎(自民)

小委員長から、25日来道予定の衆議院石炭対策特別委員に対する陳情内容について休憩して協議する旨を述べ、午前11時21分休憩(休憩中、1石炭対策に関する要望書について、2茅沼炭鉱閉山に伴う新企業計画における観光会社について、3衆議院石炭対策特別委員に対する陳情について、4石炭調査団来道に先だち中央の状勢把握のため委員派遣について協議。)、午後2時39分再開、休憩中の協議事項を確認してただちに散会。

道庁舎建設調査特別委員会

- ○8月19日 午後2時13分、第1委員会室において開議、 午後5時散会、委員長 吉田定次郎(自民)
 - ① 村上委員(公正ク)から、東京、千葉、愛知および岡 山各都県の庁舎建設状況調査経過について報告があ り、異議なくこれを了承。

② 本庁舎建設準備室長から、本庁舎建設協議会の審議 状況について説明を聴取の後、

河野委員(社)から、職場環境の整備、特に、衛生設備、冷暖房等の計画はどうか、庁員1人当たりの使用面積、駐車場の具体的計画、議会庁舎の使用状況からみて対処せんとする考え方(明らかとなるものについては、次回委員会までに資料として提出されたい。)、

佐野委員(社)から、建設費30億円の具体的内容、議事堂に残る機関、議事堂に残す部分もあるから30億円でよいという考え方かどうか、敷地条件など何ものにもとらわれないD案ができないか、できない場合の理由、駐車場は積雪等の関係を真剣に考えられたい、また、事務機械等を入れるスペースも十分みてほしい、A、B、C案を第1案とし、第2案として知事公館の敷地に建設する計画を立てる考えの有無、赤レンガを開拓記念館とする構想、並びに文化財指定申請の有無、開拓記念館の性格、

村本委員(社)から、赤レンガを残す場合、将来の展望がなければならないが、道行政の中心地とすることを長期的に考えているか、1億5,000万円をもつて赤レンガを補強した場合の耐用年数、および補強した上、庁舎の一部として使用する考え方

等について質疑、意見および要望があり、建築部長、総務部次長から答弁、暫時休憩(休憩中、次回委員会の開会日等について協議、本庁舎建設協議会で出た考え方を事前に報告をうけ、道案作成のかねあいをみて日時等を決定することとした。)、午後4時58分再開、次回委員会の日時等を委員長一任とすることを決めて散会。



全国都道府県議会議長会

- ○8月25日 都道府県会館において幹事会を開催、明26日 開催の第43回定例会の運営等について協議した。
- ○8月26日 都道府県会館において第43回定例会を開催、 まづ、会長(東京都議長)のあいさつ、新任の正副議長 の紹介、自治大臣のあいさつがあつたあと、議事に入 り、昭和40年度政府予算編成並びに施策等に対する重点 要望事項を原案どおり決定して閉会した。

10都道府県議会議長会

- ○8月18、19日の2日間 大阪府において開催、つぎの事 · 項を協議決定し、関係方面に要望することとした。
 - 1 広域公害の防止対策について
 - 2 精神薄弱者福祉対策について
 - 3 看護婦の需給対策について

10都道府県議会事務協議会

- ○8月12、13日の2日間 東京都において開催、つぎの事項について協議研究した。
 - 1 特別委員選任の日程追加について
 - 2 予算の委員会付託について
 - 3 委員長不信任動議と体憩動議が競合した場合の先決 動議の取扱いについて
 - 4 常任委員会における報道関係者の傍聴について
 - 5 速記録調整中における閲覧請求に対する措置につい て
 - 6 委員会による予算審議に際し、法定の提出資料以外 の資料について委員会が提出を要求した場合、執行機 関はその提出を拒否しうるかについて
 - 7 委員会において委員長に対する不信任動議が提出された場合の取扱いについて
 - 8 議会の議決に際して、可否同数の場合の議長の決我 権と「現状維持の原則」の適用について

全国酪農経営安定対策連絡協議会

○8月28日 静岡県において第8回総会を開催、まず会長 (長野県議会議長)のあいさつ、ついで来賓祝辞があつ たあと協議に入り、昭和38年度事業報告、収支決算、昭 和39年度事業計画、収支予算等を原案どおり承認、つぎ に役員改選に入り、異議なく前年度役員全員を再任した 後、学校給食用牛乳供給事業ほか19項目を協議決定し、 関係方面に要望することとした。



第2回定例道議会の議決を経た条例の公布調

件	名	議決月日	公布月日 公布番号
北海道防災会議 改正する条例	条例の一部を	7. 9	7. 15 条例第55号
北海道収入証紙 改正する条例	条例の一部を	同	同 条例第56号
北海道屋外広告を改正する条例	物条例の一部	闻	同 条例第57号
北海道工鉱業開 一部を改正する		同	同 条例第58号
北海道農業用機 例の一部を改正		同	同 条例第59号
北海道てん菜生 条例の一部を改		同	同 条例第60号
北海道地方競馬 部を改正する条		同	同 条例第61号
北海道警察組織 改正する条例	条例の一部を	同	同 条例第62号
風俗営業等取締 一部を改正する	条例	同	同 条例第63号
北海道公立学校 校歯科医及び学 務災害補償に関 部を改正する条	校薬剤師の公 する条例の一	同	同 条例第64号
北海道職員の給 例等の一部を改	与に関する条 正する条例	同	同 条例第65号
北海道支庁設置 を改正する条例	条例等の一部	5. 1 専決処分	5. 1 条例第54号



大						臣		ם	文	務	次	官	•	事	務	次	官
内 閣 総	理	池	Щ	勇	人	広島	2										-
法	務	F'4	橋		等	広島	3	大	坪	保	俎	佐	賀	竹	内	寿	平
外	務	椎	名	悦日	三郎	岩手	2	永	Ш	亮	_	兵庫	2	黄	田	多	喜夫
大	蔵	田	中	角	栄	新潟	3	鍛鍋	治島	良	作紹	富山参	1 左賀	石	野	信	_
女科学技术序』	部	愛	知			i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	1	押押	谷	富	Ξ	大阪	2	小	林	行	雄
文 科学技術庁员 原子力委員	長	変		-		宮城	1	菊	地	義	郎	東京	2	久	田	太	郎
厚	生	神	田		博	静岡	1	徳	永	正	利	参:	全国	高	田	浩	運
農	林	赤	城	宗	徳	茨 城	3	館	林	三至	喜 男	佐	賀	大	沢	_	融
		25.	794		. 1459	大城		谷	П	慶	古	参鹿	児島		υ\ 		ITEX
通商産	業	桜	内	義	雄	島	根	岡	崎	英	城	東京	4	佐	橋		滋
								村	Ŀ	春	蔵	参 :	大分				
運	輸	松	浦	周オ	娘力	北海	道 2	大ク	保	武	雄	熊本	1	広	瀬	真	
郵	政	徳	安	実	蔵	鳥	取	服	部	安	司	奈	良	佐	方	信	博
労	働	石	田	博	英	秋田	1	始	関	伊	平	千葉	1	堀		秀	夫
建 首都图整備委 近畿图整備县	設 員長官	小	山	長	規	宮崎	2	自	浜	仁	吉	長崎	2	Щ	内		郎
自国家公安委員	治	吉	武	恵	市	参」	ЦП	高	橋	禎		広島	3	金	丸	Ξ.	郎
国防衛庁長	務官	小	泉	純	也.	神奈川	2	高	橋	清一	一郎	新潟	1	加	藤	陽	Ξ
国 経済企画庁 5	務長官	高	橋		衛	参	富井	伊	東	隆	治	庭 児 奄美	」 島 群島	松	村	敬	_
国北海道開発庁	· 務 長官	増	原	恵	吉	参	至媛	大	泉	寛	=	埼玉	1	谷	藤	正	Ξ
北海道開発庁	美 官	THE .	1/35	res.		190 Z	火火区	山	本		杉	参 3	全国	Щ	П		.酉
国 五 輪 担	務当	河	野	-	郎	神奈	3										

内	内閣官房長官			鈴	木	*	- 幸	岩手	1	内閣官房副長官	斎	藤	邦	吉	福島 3
1 7 3	nna 🗈	<i>IS</i> IX	Ħ	加林		<u> </u>	=¥=	石丁	1	内阳自房间文目	石	岡		実	(事務)
総	務	長	官	自	井	荘	_	千栗	1	法 制 局 長 官	林		修	=	

自由民主党

田 勇 人(広島 2) 総 裁 池 正次郎(千葉 1) 副 総 裁][] 島 清(千葉 3) 森 事 長 Ξ 木 武 夫(徳 岛) 瀬戸山 三 男(宮崎 2) 芳(香川 2) 平 副 事 長 大 Œ 高橋 進太郎(参宮城) 轰(大阪 3) 原 田 総務会長 中 村 吉(東京 5) 雄(山口 1) 政務調查会長 周 朿 英 祐太郎(静岡 3) // 副会長 竹 Ш 黑 泰 美(山形 1) 金 政 誠 之(広島 3) 己(静岡 1) 重 西 村 直 藤 昇(参三重) 斎 国会对策委員長 佐々木 秀 世(北海道2) 勇(大分 1) 全国組織委員長 村 上 郎 (茨城 2) 広報委員長 原 俊 塚 善 太郎(長野 1) 财務委員長 坂 小 党紀委員長 森 順 造(参青森) 笹

日 本 社 会 党

財務委員長

泂

野

中央執行委員長 河 上 丈太郎(兵庫 1) 書 記 長 成 田 知 巳(香川 1) 政策審議会長 勝間田 清 一(静岡 2) 井 徳次郎(三重 1) // 副会長 覚(鳥 取) 足 應 中 弘 市(和歌山2) 迁 原 一(長野 1) 다 沢 茂 進(新潟 3) 林 村 継 義(熊本 2) 小 Ш 長 造(参 岡山) 男(奈良) 秋 Ш 八 木 進(参 広島) 戸 11+ 武(参 栃木) 腠 田 郎 北 Щ 愛 国会対策委員長 横 路 節 雄(北海道1) 芳 夫(福 井) 〃 副委員長 野 原 覚(大阪 1) 堂 森 一(参 全国) 藤太郎(参京都) 大 倉 精 縢 П 統制委員長 縢 勘十 加

密(東京 5)

民主社会党

中央執行委員長 西尾 末 広(大阪 2)

書 記 長 西 村 栄 一(大阪 5)

政策審議会長 今 澄 勇(山口 1)

〃 副会長 内 海 清(広島 3) 玉 置 一 徳(京都 3)

竹 本 孫 一(静岡 3) 基 政 七(参 全国)

田 上 松 衛(参神奈川) 米 山 雄 二

国会対策委員長 春 日 一 幸(愛知 1)

〃 副委員長 鈴木 一(秋田 1) 高 山 恒 雄(参 全国)

日本共産党

中央委員会議長 野 坂 参 三(参 東京)

書 記 長 宮 本 顕 治

幹部会員 野坂参三 宮本顕治

蔵 原 惟 人 聴 涛 克 巳

参議院院内各派

自由民主党

議員会長 林屋亀次郎(石川)

幹 事 長 塩 見 俊 二(高 知)

政策審議会長 杉 原 荒 太(佐 賀)

国会对策委員長 西田信一(北海道)

公 明 会

幹 事 長 原 島 宏 治(全 国)

政務調查会長 鈴木 一 弘(全 国)

国会对策委員長 辻 武 寿(全 国)

緑 風 会

代 表 者 佐藤尚武(青森)

第2院クラブ

代表者 市川房枝(東京)

自	曲	民主	党	日本	姓 会 党	民 主 社	t 会	党
会	長	篠田	弘作	執行委員長	川村清一	執行委員長	小平	忠
副	会 長	寿 原	正一	副委員長	平 野 三郎兵衛	副委員長	岡田	時 行
	同	岩本	政 一	闻	塚 本 肇	同	堀 野	豊 夫
	同	徳 中	祐 満	書 記 長	佐 野 法 幸	書 記 長	津川	直 一
	同	蒔 田	余 吉	財務委員長	岡田義雄	政策審議委員長	桜井	淳
	同	吉 田	定次郎	組織委員長	新川輝隆	財務委員長	日詰	豊 作
幹	事 長	中山	信一郎	労働対策委員長	渡 辺 浩	総務局長	鴻上	寛
副幹	事長	原田	伊曾八	農民対策委員長	坂 下 堯	組織局長	椿原	茂
	同	奈 良	敬 蔵	漁民対策委員長	熊本松一	選对委員長	戸部	卯 吉
!	同	谷口	太一	中小企業対策 委員長	本間義孝	教 宣 局 長	大津	弘
総務	务会 長	佐々木	利 雄	青年対策委員長	柴田定良	労働対策委員長	黒 田	孝 士
同	副会長	堀田	毅	婦人対策委員長	渡 辺 和歌子	農林対策委員長	宮 野	正 勝
	同	黒 松	秀 夫	教宜委員長	椿 三智幹	漁業対策委員長	本 間	武 三
	同	奥野	善 造	国民運動委員長	湯田倉治	中小企業対策 委員長	尾 藤	忠 雄
	同	高橋	辰 夫	議会対策委員長	堀 重 平	青年学生対策 委員長	斎 藤	敬実
政務部	周查会長	杉本	栄 一	政策審議委員長	山下策雄	婦人対策委員長	佐藤	たか
同	副会長	中松	英 二	自治体対策 委員長	池島信吉	国民運動委員長	小野寺	一 郎
	司	島田	薰	選挙対策委員長	平 野 三郎兵衛	議会対策委員長	津川	直 一
	同	佐藤	幹夫	統制委員長	大 島 仁三郎			
	同	渡辺	省 一	議員会長	高田治郎			
選挙为	策委員長	松尾	三 良	同 副会長	糸川章 夫			
同	副委員長	深山	和贸	幹 事 長	堀 重 平			
	同	神部	俊 郎	同 副幹事長	竹 内 重 雄			
	同	佐々木	豊					
	同	西野	実					
	委員長	福島	新太郎					
同	副委員長	朝日						
	同		元 治		}			
	同		伊曾八					
	闻		徳 治					
	司	ĺ	市造					
ł	委員長		哲 男					
同	副委員長		秀 利					
	同		省一					
	同	五十嵐	長 寿					

自由	民	主	党			日	本	: #	Ę.	産	党			公	Œ	ŋ	_	ラ	ブ	
 太報委員長	高	橋	賢	-	委	Ę	—. l	長	西	館		仁	議	員	会	長	倉	- 増	新月	良ノ
司 副委員長	Щ	元	3	Э	副	委	員	長	中	Щ	_	男	同	Ē	们 会	長	村	上	庄	_
同	大	内	三	治	常	任	委	員	荒	井	英	=	幹			事	津][]	直	_
同	千	葉	忠	雄		FF]		後	藤	鉄	治		ħ	i j		वि	部	文	更
党紀委員長	大	沢	重っ	大郎		Ħ]		瀬戸	=]	元	信	会	計	幹	事	官	本	養	B
司副委員長	池	田	金	助		F	3		谷	内	盛	治								
同	尾	崎		勇		Ħ	j		豊	島	俊	男								
同	奈	良	敬	蔵		Ħ]		水	落	恒	彦								
会 計 監 督	地	崎	字	三郎																
同	岩	田	徳	治																
闻	İŢİ	元	3	Ħ																
青 年 部 長	朝]	利	雄																
· 人 部 長	中	Ш	イ	セ																
近代化推進 本部長	麻	里	悌	Ξ																
司 副本部長	古	沢	泰	_																
同	高	橋	辰	夫																
闻	大	橋	登	吉																
義 員 会 長	大	島	Ξ	郎												Ì				
司副会長	岩	田	徳	治																
同	武	内	喪	誌																,
会 計	新	谷	市	造																
会 計 監 査	中	西	秀	利																
同	古	沢	泰	_																
義会対策委員長	伊	藤	作	-												l				
司副委員長	森		春																	
政策審議委員長	林		利	博																
司副委員長	佐人	木		豊																
教育正常化 特別委員長	林		謙	=																
開拓農家負債 整理特別委員長	原	田	伊鲁	八會												.				

8月のメモ

- 3 ○道農務部、定期作況報告発表(8月1日現在)、低温で作況は悪化、水稲、畑作とも平年以下、空知、 日間やや不良。
 - ○道産業開発会議(藤波収議長)、新中央民間空港設置に関する要望と見解を発表。
- 4 ○道企業局、電源開発調査の現状と見通しを発表。
- 5 () サケ、マス魚価交渉まとまる、一律 7 % アツブ (昨年比)。
- 6 ○政府、港湾整備促進法の適用を うける地方港湾を発表、全国15、道内 6。
 - ○道建築部、道営大麻団地の開発基本計画を発表、戸数7,200戸、工費47億円。
- 7 **○**道の本年度河川改修補助を決定、総額4,855万8,000 円 (52河川)。
- 8 ○自治省、住民税減税補てん債市町村配分を決定、本 道分6億9,000万円(15日から貸し出し)。
- 10 ○道教育庁、高校選抜で公聴会開く(札幌)。
 - ○道公安委員長に道家斉次氏選任。
- 11 ()建設省、初の新住宅市街地に大麻団地を指定。
 - ○道新産都市建設協議会、道央新産都市建設基本計画 中間報告まとまる、工業開発に8,200億円。
- 12 〇人事院、国家公務員給与で勧告、ベア 7.9%、実質 8.5% (5月1日から)。
- 13 ○農林省札幌統計事務所、38年の道農家経済概要をま とめる、農家所得着実に伸びる、前年比17.6%増。
 - ○道総務部、38 年の海外旅行状況をまとめる、延べ 1,300人、前年の54%増。
- 15 ()道、38 年の道民所得推計を発表、実質で 13% の伸び、全国平均を上回る。
- 17 ○道衛生部、38年本道人口動態をまとめる、多産少死型、死亡率史下最低。
 - ○道、支庁別の電気導入事業計画をまとめる、本年度 は4,017 戸。

- 19 〇道農務部、原料ビート作付面積の実測結果を発表、 道東は伸び道央は減る。
- 20 ○農林省道統計事務所、道内主要畑作物作付概況を発表、麦と豆類は減り、ジャガイモ、ネギは増加。
 - ○青函トンネル調査坑、青森側から着工。
- 21 ○道開発審議会、開発予算要求要領を開発庁長官に答申。
- 24 () 道財務局、道、市町村の財政事情調査結果をまとめる、国庫依存度高い。
- 25 ○道、労働対策協議会の設置をきめる、若手不足に備 え、需給の調整を図る。
 - ○道、38年度の道内市町村普通会計決算概況をまとめる、15億4,000万円の黒字、財政構造は悪化。
- - ○真性コレラ発生、千葉県習志野市(患者死亡)。
- 28 ○ソ連、水晶島1カ所、色丹島2カ所の墓参認める。
- 31 〇国連本部、39年度の国連人口統計年鑑を刊行、世界 の人口31億3,500万人。
 - ○道開発庁、40年度道開発予算の概算要求額をまとめる、総額は1,070億(本年度比32%増)。
 - ○文部省、大学生急増対策を発表、67,000人を増募、 私学に8割を依存。

昭和39年9月20日発行

北海道議会時報 (第 16 巻)

編 集 北海道議会事務局調査課

発行北海道議会事務局